

一般社団法人日本衛生検査所協会 令和3年度事業報告

一般社団法人日本衛生検査所協会は、衛生検査所の資質の向上と検査技術の研鑽を図り、よって国民の健康の保持増進に寄与するため、令和3年度は、次のとおり各種事業を実施した。

なお、新型コロナウイルス感染症のため、総会、各会議、及び各支部月間大会等の事業が、開催見送り、または規模を縮小しての開催となった。

◎会員数 令和3年4月1日 390施設・令和4年3月31日 392施設
 [入会会員数 9施設・退会会員数 7施設]

I 会 議

1 理 事 会

①構 成

| 役 職 | 氏 名 | 所 属 |
|------|------|------------------|
| 名誉会長 | 久川芳三 | (株)保健科学研究所 |
| 副会長 | 伊達藤三 | 札幌臨床検査センター(株) |
| 専務理事 | 東楠一 | (株)ビー・エム・エル |
| 専務理事 | 河近田 | (株)エスアールエル |
| 専務理事 | 近藤功 | (株)LSIメディエンス |
| 専務理事 | 金福村 | (株)ファルコバイオシステムズ |
| 専務理事 | 福橋川 | (一社)日本衛生検査所協会 |
| 専務理事 | 石横山 | (一社)日本衛生検査所協会 |
| 専務理事 | 横広田 | (一社)日本衛生検査所協会 |
| 専務理事 | 近岡内 | (株)江東微生物研究所 |
| 専務理事 | 久草米 | (株)日研医学 |
| 専務理事 | 野丹 | (一財)総合保健センター |
| 専務理事 | 伊大堀 | (株)近畿予防医学研究所 |
| 専務理事 | 大杉田 | (株)福山臨床検査センター |
| 専務理事 | 早川 | (株)四国中検 |
| 専務理事 | 今大井 | (株)キューリン |
| 専務理事 | 大杉村 | (株)ビー・エム・エル |
| 専務理事 | 森端田 | (株)サンリツ |
| 専務理事 | 森井 | (株)江東微生物研究所 |
| 専務理事 | 菅原 | (株)武蔵臨床検査所 |
| 専務理事 | 真松 | (株)早川予防衛生研究所 |
| 専務理事 | 松本 | (株)メディック |
| 専務理事 | 川 | (一社)京都微生物研究所 |
| 専務理事 | 堤 | (株)中央微生物検査所 |
| 専務理事 | 飛鳥 | 日本医学(株) |
| 専務理事 | 新森 | (有)久留米臨床検査センター |
| 専務理事 | | (株)ビー・エム・エル |
| 専務理事 | | (株)LSIメディエンス |
| 専務理事 | | (株)保健科学研究所 |
| 専務理事 | | (株)エスアールエル |
| 専務理事 | | (株)保健科学研究所 |
| 専務理事 | | (一社)日本衛生検査所協会 |
| 専務理事 | | (株)京浜予防医学研究所 |
| 専務理事 | | (株)日本医学臨床検査研究所 |
| 専務理事 | | 公認会計士・税理士森山高行事務所 |

R4.3.31現在 (敬称略)

②開催状況

| 回 | 開催年月日 | 審議事項 | 備考 |
|-----|------------|----------------|--------------------|
| 第1回 | 令和3年5月28日 | ①総会に付議すべき事項の審議 | 平均 出席率 90.2% |
| 第2回 | 令和3年11月24日 | ②重要項目の審議決定 | |
| 臨時 | 令和4年3月24日 | ③その他 | |

2 常任理事会

①構成

| 役職 | 氏名 | 所属 |
|------|------|-----------------|
| 会長 | 久川芳三 | (株)保健科学研究所 |
| 名誉会長 | 伊達忠一 | 札幌臨床検査センター(株) |
| 副会長 | 近藤健介 | (株)ビー・エム・エル |
| 〃 | 東楠俊一 | (株)エスアールエル |
| 〃 | 楠智一 | (株)LSIメディエンス |
| 〃 | 河田與一 | (株)ファルコバイオシステムズ |
| 専務理事 | 近藤功治 | (一社)日本衛生検査所協会 |
| 参事 | 金村茂 | (一社)日本衛生検査所協会 |
| 〃 | 福川辰之 | (一社)日本衛生検査所協会 |
| 常任理事 | 橋本充 | (株)江東微生物研究所 |
| 〃 | 石田衛 | (株)日研医学 |
| 〃 | 横山強 | (一財)総合保健センター |
| 〃 | 広田周一 | (株)近畿予防医学研究所 |
| 〃 | 近本陽一 | (株)福山臨床検査センター |
| 〃 | 岡内伸介 | (株)四国中検 |
| 〃 | 久米大輔 | (株)キューリン |

R4. 3. 31 現在 (敬称略)

②開催状況

| 回 | 開催年月日 | 審議事項 | 備考 |
|-----|-----------|------------------|-------------------|
| 第1回 | 令和3年7月29日 | ①理事会から委任された事項の審議 | 平均 出席率 100% |
| 第2回 | 令和4年1月27日 | ②緊急事項の審議 | |
| | | ③各委員会報告等の審議 | |
| | | ④その他 | |

3 委員会

(1) 総務労務委員会

① 目的

協会事業計画の樹立運営並びに関連事項の検討

② 構成

| 役 職 | 氏 名 | 所 属 |
|-----------|-----------|----------------|
| 担 当 副 会 長 | 楠 智 | (株)LSIメディエンス |
| 委 員 長 | 横 山 強 | (一財)総合保健センター |
| 副 委 員 長 | 大 藪 正 樹 | (一社)京都微生物研究所 |
| 委 員 | 伊 達 忠 應 | 札幌臨床検査センター(株) |
| 〃 | 成 藤 達 郎 | (株)ビー・エム・エル |
| 〃 | 官 福 秀 佳 | (株)ビー・エム・エル |
| 〃 | 中 根 康 範 | (一財)総合保健センター |
| 〃 | 藤 尾 耕 造 | (株)福山臨床検査センター |
| 〃 | 青 山 竹 彦 | (株)ビー・エム・エル |
| 〃 | 森 田 崇 一 郎 | (有)久留米臨床検査センター |

R4.3.31 現在 (敬称略)

③ 開催状況

| 回 | 開催年月日 | 審 議 事 項 | 備 考 |
|---------------|-----------|---|--------------------|
| 第 1 回 (書面) | 令和3年5月14日 | ①令和2年度決算書類の報告について | 平均 出席率 95.0% |
| 第 2 回 | 令和3年7月20日 | ①令和3年度臨床検査普及月間大会について ②日衛協創立50周年記念事業について ③日衛協本部及び支部の委員会等の在り方の検討について ④その他 | |
| 第 3 回 | 令和3年9月21日 | ①令和3年度臨床検査普及月間大会について ②日衛協創立50周年記念事業について ③令和3年度委員会活動について ④その他 | |
| 第 4 回 | 令和4年1月18日 | ①令和4年度事業計画案について ②令和4年度支部交付金案及び予算案について ③日衛協創立50周年記念事業について ④令和3年度委員会活動について ⑤その他 | |
| 第 5 回 | 令和4年2月15日 | ①令和4年度事業計画案について ②令和4年度支部交付金案及び予算案について ③今後のスケジュール等について ④日衛協創立50周年記念事業について ⑤その他 | |

(2) 学術委員会

① 目的

衛生検査に係る学術・技術の研鑽と振興並びに関連事項の検討

② 構成

[学術委員会]

| 役 職 | 氏 名 | 所 属 |
|-----------|---------|---------------|
| 担 当 副 会 長 | 近 藤 健 介 | (株)ビー・エム・エル |
| 委 員 長 | 近 本 陽 一 | (株)福山臨床検査センター |
| 副 委 員 長 | 奥 原 俊 彦 | (株)福山臨床検査センター |
| 〃 | 杉 田 宏 充 | (株)武蔵臨床検査所 |
| 委 員 | 神 谷 厚 | 札幌臨床検査センター(株) |
| 〃 | 成 田 京 子 | (株)LSIメディエンス |
| 〃 | 竹 並 健 | (株)エスアールエル |
| 〃 | 荒 木 年 夫 | (株)大阪血清微生物研究所 |
| 〃 | 花 川 準 司 | (株)四国中検 |
| 〃 | 岩 川 明 子 | (株)シー・アール・シー |

R4.3.31 現在 (敬称略)

[学術委員会ワーキンググループ1]

| 役 職 | 氏 名 | 所 属 |
|---------|---------|---------------|
| 副 委 員 長 | 奥 原 俊 彦 | (株)福山臨床検査センター |
| 〃 | 杉 田 宏 充 | (株)武蔵臨床検査所 |
| 委 員 | 神 谷 厚 | 札幌臨床検査センター(株) |
| 〃 | 成 田 京 子 | (株)LSIメディエンス |
| 〃 | 竹 並 健 | (株)エスアールエル |
| 〃 | 花 川 準 司 | (株)四国中検 |

R4.3.31 現在 (敬称略)

[学術委員会ワーキンググループ4・5]

| 役 職 | 氏 名 | 所 属 |
|---------|---------|---------------|
| 副 委 員 長 | 奥 原 俊 彦 | (株)福山臨床検査センター |
| 〃 | 杉 田 宏 充 | (株)武蔵臨床検査所 |
| 委 員 | 神 谷 厚 | 札幌臨床検査センター(株) |
| 〃 | 竹 並 健 | (株)エスアールエル |
| 〃 | 花 川 準 司 | (株)四国中検 |

R4.3.31 現在 (敬称略)

③ 開催状況

[学術委員会]

| 回 | 開催年月日 | 審議事項 | 備考 |
|-----|------------|---|------------|
| 第1回 | 令和3年5月27日 | ①令和3年度第27回学術研究発表会全国大会について ②第46期(令和3年度)日本臨床検査専門学院について ③令和3年度学術委員会事業活動について ④その他 | 平均出席率92.5% |
| 第2回 | 令和3年7月28日 | ①令和3年度第27回学術研究発表会全国大会について ②日本臨床検査専門学院第46期(血液学コース)について ③令和3年度学術委員会事業活動について ④その他 | |
| 第3回 | 令和3年12月10日 | ①令和4年度第28回学術研究発表会全国大会について ②日本臨床検査専門学院第46期(血液学コース)について ③令和3年度学術委員会事業活動について ④その他 | |
| 第4回 | 令和4年3月8日 | ①令和4年度第28回学術研究発表会全国大会について ②日本臨床検査専門について ③令和3年度学術委員会事業活動について ④その他 | |

[学術委員会ワーキンググループ1]

| 回 | 開催年月日 | 審議事項 | 備考 |
|-----|-----------|-----------------------------------|-----------|
| 第1回 | 令和3年4月28日 | ①令和3年度第27回学術研究発表会全国大会について ②その他 | 平均出席率100% |

[学術委員会ワーキンググループ4・5]

| 回 | 開催年月日 | 審議事項 | 備考 |
|-----|------------|--|------------|
| 第1回 | 令和3年10月12日 | ①日本検査血液学会 凝固検査検体取扱いに関するコンセンサスへの対応について ②日衛協検査前工程ガイドラインと精度管理ガイドラインの検討について ③その他 | 平均出席率97.7% |
| 第2回 | 令和3年12月7日 | ①日衛協検査前工程ガイドラインと精度管理ガイドラインの検討について ②日本検査血液学会 凝固検査検体取扱いに関するコンセンサスへの対応について ③その他 | |

| | | | |
|-----|-----------|---|--|
| 第3回 | 令和4年1月28日 | ①日衛協検査前工程ガイドラインと精度管理 ガイドラインの検討について ②その他 | |
|-----|-----------|---|--|

(3) 広報委員会

① 目的

広報活動の推進並びに関連事項の検討

② 構成

| 役 職 | 氏 名 | 所 属 |
|-----------|---------|---------------|
| 担 当 副 会 長 | 東 俊 一 | (株)エスアールエル |
| 委 員 長 | 広 田 周 一 | (株)近畿予防医学研究所 |
| 副 委 員 長 | 橋 本 充 | (株)江東微生物研究所 |
| 委 員 | 田 中 幸 樹 | (株)エスアールエル |
| 〃 | 伊 丹 淳 | (株)サンリツ |
| 〃 | 古 賀 美 純 | (株)アルプ |
| 〃 | 下 田 哲 也 | (有)エフエムエルサービス |
| 〃 | 戸 倉 貴 史 | (株)エスアールエル |

R4.3.31 現在 (敬称略)

③ 開催状況

| 回 | 開催年月日 | 審 議 事 項 | 備 考 |
|-----|-----------|---|--------------------|
| 第1回 | 令和3年4月28日 | ①協会紙「ラボ」5月号について (確認) ②協会紙「ラボ」6月号・7月号の企画編集案 について ③令和3年度広報委員会事業について ④その他 | 平均 出席率 90.0% |
| 第2回 | 令和3年5月27日 | ①協会紙「ラボ」6月号について (確認) ②協会紙「ラボ」7・8・9月号の企画・編集案 について ③協会紙「ラボ」11月号<臨床検査普及月間 特別号>特集記事について ④令和3年度臨床検査普及月間のスローガン案 の検討について ⑤令和3年度広報事業について ⑥その他 | |

| | | |
|-----|------------|---|
| 第3回 | 令和3年7月28日 | <ul style="list-style-type: none"> ①協会紙「ラボ」8月号について（確認） ②協会紙「ラボ」9月号・10月号の企画編集案について ③協会紙「ラボ」11月号特集記事について ④臨床検査普及月間ポスター企画案について （取り戻そう！ 検査がつなぐ みんなの笑顔） ⑤第22回記念エッセイ「検査がくれたもの」の応募状況（中間報告）について ⑥令和3年度広報事業について ⑦その他 |
| 第4回 | 令和3年8月25日 | <ul style="list-style-type: none"> ①協会紙「ラボ」9月号について（確認） ②協会紙「ラボ」10月号・11月号の企画編集案について ③協会紙「ラボ」11月号特集記事について ④臨床検査普及月間ポスター企画案について （取り戻そう！ 検査がつなぐ みんなの笑顔） ⑤第22回記念エッセイ「検査がくれたもの」の応募状況（最終報告）について ⑥令和3年度広報事業について ⑦その他 |
| 第5回 | 令和3年9月22日 | <ul style="list-style-type: none"> ①協会紙「ラボ」10月号について（確認） ②協会紙「ラボ」11月号・12月号の企画編集案について ③臨床検査普及月間ポスター企画案について （取り戻そう！ 検査がつなぐ みんなの笑顔） ④第22回記念エッセイ「検査がくれたもの」採点集計結果について ⑤令和3年度広報事業について ⑥その他 |
| 第6回 | 令和3年10月27日 | <ul style="list-style-type: none"> ①協会紙「ラボ」11月号について（確認） ②協会紙「ラボ」12月号・1月号の企画編集案について ③臨床検査普及月間ポスターについて （取り戻そう！ 検査がつなぐ みんなの笑顔） ④令和3年度広報事業について ⑤その他 |
| 第7回 | 令和3年11月22日 | <ul style="list-style-type: none"> ①協会紙「ラボ」12月号について（確認） ②協会紙「ラボ」1月号・2月号・3月号の企画編集案について ③令和3年度広報事業について ④その他 |
| 第8回 | 令和4年1月26日 | <ul style="list-style-type: none"> ①協会紙「ラボ」2月号について（確認） ②協会紙「ラボ」3月号・4月号の企画編集案について ③令和3年度広報事業について ④令和4年度広報委員会事業計画について ⑤その他 |
| 第9回 | 令和4年2月17日 | <ul style="list-style-type: none"> ①協会紙「ラボ」3月号について（確認） ②協会紙「ラボ」4月号・5月号の企画編集案について ③令和3年度広報事業について ④令和4年度広報委員会事業計画について ⑤その他 |

| | | | |
|------|-----------|---|--|
| 第10回 | 令和4年3月24日 | ①協会紙「ラボ」4月号について（確認） ②協会紙「ラボ」5月号・6月号の企画編集案について ③第23回エッセイ「検査がくれたもの」一般公募について ④令和3年度広報事業について ⑤その他 | |
|------|-----------|---|--|

(4) 渉外委員会

① 目的

諸外国医療制度の調査、情報収集及び臨床検査等基本問題並びに関連事項の検討

② 構成

| 役 職 | 氏 名 | 所 属 |
|-----------|---------|-----------------|
| 担 当 副 会 長 | 東 俊 一 | (株)エスアールエル |
| 委 員 長 | 岡 内 伸 介 | (株)四国中検 |
| 委 員 | 野 川 互 | (株)保健科学研究所 |
| 〃 | 石 井 浩 次 | (株)盛岡臨床検査センター |
| 〃 | 杉 田 宏 充 | (株)武蔵臨床検査所 |
| 〃 | 岡 村 昌 毅 | (株)ファルコバイオシステムズ |
| 〃 | 横 見 孝 夫 | (株)岡山医学検査センター |
| 〃 | 原 正 之 | (株)協同医学研究所 |

R4.3.31 現在（敬称略）

③ 開催状況

| 回 | 開催年月日 | 審 議 事 項 | 備 考 |
|-----|-----------|---|--------------------|
| 第1回 | 令和3年9月29日 | ①令和2年度「医療フォーラム21」の報告について ②令和3年度「医療フォーラム21」の検討について ③令和4年度「医療フォーラム21」について ④その他 | 平均 出席率 87.5% |

(5) 全国営業委員会

① 目的

適正営業の推進並びに関連事項の検討

② 構成

| 役職 | 氏名 | 所属 |
|-----|------|---------------|
| 委員長 | 庄司吉人 | 札幌臨床検査センター(株) |
| 〃 | 佐藤英司 | (株)江東微生物研究所 |
| 〃 | 大堀春夫 | (株)江東微生物研究所 |
| 〃 | 古橋信幸 | (株)保健科学研究所 |
| 〃 | 今井利光 | (株)メディック |
| 〃 | 田端隆彦 | 日本医学(株) |
| 〃 | 吉田正則 | (株)福山臨床検査センター |
| 〃 | 増元秀之 | (株)四国中検 |
| 〃 | 児玉泰光 | (株)キューリン |

R4.3.31 現在 (敬称略)

※運営形態等検討のため、令和3年度は開催を見合わせた。

(6) 精度管理委員会

① 目的

精度管理調査の実施、評価並びに関連事項の検討

② 構成

[精度管理調査結果検討委員会]

| 役職 | 氏名 | 所属 |
|-------|-------|-----------------|
| 担当副会長 | 河田與一 | (株)ファルコバイオシステムズ |
| 委員長 | 高木康 | 昭和大学 |
| 副委員長 | 菅野治重 | 鹿島病院感染症診療支援センター |
| 委員 | 山田俊幸 | 自治医科大学 |
| 〃 | 三ツ橋雄之 | 慶應義塾大学 |

R4.3.31 現在 (敬称略)

[精度管理調査委員会]

| 役 職 | 氏 名 | 所 属 |
|-------|-----------|-----------------|
| 担当副会長 | 河 田 與 一 | (株)ファルコバイオシステムズ |
| 委員長 | 高 木 康 | 昭和大学 |
| 副委員長 | 菅 野 治 重 | 鹿島病院感染症診療支援センター |
| 委 員 | 山 田 俊 幸 | 自治医科大学 |
| 〃 | 三 ツ 橋 雄 之 | 慶應義塾大学 |
| 〃 | 久 川 聡 | (株)保健科学研究所 |
| 〃 | 宮 川 稔 浩 | (株)LSIメディエンス |
| 〃 | 長 谷 川 修 | (株)ビー・エム・エル |
| 〃 | 小 島 卓 | (株)エスアールエル |

R4.3.31 現在 (敬称略)

[精度管理倫理審査委員会]

| 役 職 | 氏 名 | 所 属 |
|-----|-----------|-----------------|
| 委員長 | 高 木 康 | 昭和大学 |
| 委 員 | 菅 野 治 重 | 鹿島病院感染症診療支援センター |
| 〃 | 山 田 俊 幸 | 自治医科大学 |
| 〃 | 三 ツ 橋 雄 之 | 慶應義塾大学 |
| 〃 | 岡 田 隆 志 | リョマホ法律事務所 |
| 〃 | 山 本 雅 子 | (株)プロラント |
| 〃 | 河 田 與 一 | (株)ファルコバイオシステムズ |

R4.3.31 現在 (敬称略)

[精度管理地区委員会]

| 役 職 | 氏 名 | 所 属 | 支 部 |
|------|---------|--------------------------|-------|
| 委員長 | 奥 原 俊 彦 | (株)福山臨床検査センター | 中 国 |
| 副委員長 | 花 川 準 司 | (株)四国中検 | 四 国 |
| 委 員 | 樋 口 竹 広 | (株)エスアールエル | 北 海 道 |
| 〃 | 野 口 健 一 | (株)江東微生物研究所 | 東 北 |
| 〃 | 久 野 義 和 | (株)LSIメディエンス | 関東甲信越 |
| 〃 | 辻 永 秀 雄 | (株)日研医学 | 北 陸 |
| 〃 | 林 博 美 | (株)メディック | 中 部 |
| 〃 | 米 谷 昌 志 | (株)ファルコバイオシステムズ | 近 畿 |
| 〃 | 守 口 浩 二 | (株)QOLセントラルラボラトリーズ QCL福岡 | 九 州 |

R4.3.31 現在 (敬称略)

③ 開催状況

[精度管理調査結果検討委員会]

| 回 | 開催年月日 | 審議事項 | 備考 |
|-----|-----------|--|-----------------|
| 第1回 | 令和4年2月22日 | ①令和3年度(第47回)臨床検査精度管理調査結果について ②令和3年度(第47回)臨床検査精度管理調査結果検討会について ③臨床検査精度管理調査結果報告書原稿の取り纏め方について ④その他 ・令和4年度(第48回)臨床検査精度管理調査の倫理審査について | 平均出席率 100.0% |

[精度管理倫理審査委員会]

| 回 | 開催年月日 | 審議事項 | 備考 |
|-----|----------|--|----------------|
| 第1回 | 令和3年6月4日 | ①令和3年度(第47回)臨床検査精度管理調査における血液学項目調査実施の倫理審査について ②その他 | 平均出席率 85.7% |

[精度管理委員会・精度管理地区委員会合同会議]

| 回 | 開催年月日 | 審議事項 | 備考 |
|-----|----------|--|----------------|
| 第1回 | 令和3年6月4日 | ①令和2年度(第46回)臨床検査精度管理調査について ②令和3年度(第47回)臨床検査精度管理調査について ③その他 | 平均出席率 72.2% |

[精度管理地区委員会]

| 回 | 開催年月日 | 審議事項 | 備考 |
|-----|-----------|---|------------|
| 第1回 | 令和3年7月9日 | ①令和2年度(第46回)臨床検査精度管理調査について ・令和2年度(第46回)臨床検査精度管理調査結果検討会 ②令和3年度(第47回)臨床検査精度管理調査について ・スケジュール ・調査項目・試料内容 ・化学、免疫血清学用プール血清の供出 ・HbA1c、血液学用新鮮血液試料の作製及び発送 ③令和3年度精度管理地区委員会事業について ④今後の開催日程について ⑤その他 | 平均出席率93.9% |
| 第2回 | 令和3年9月22日 | ①令和3年度(第47回)臨床検査精度管理調査について ・令和3年度(第47回)臨床検査精度管理調査の進捗状況報告 ・化学、免疫血清学用プール血清の供出・参加施設 ・HbA1c、血液学用新鮮血液試料の作製及び発送 ・新型コロナウイルス遺伝子検査精度管理調査の実施 ②令和3年度精度管理地区委員会事業について ③今後の開催日程について ④その他 | |
| 第3回 | 令和4年3月31日 | ①令和3年度(第47回)臨床検査精度管理調査に関する件 ・令和3年度(第47回)臨床検査精度管理調査概要及び進捗状況等について ・結果検討会について ②今後の精度管理調査に関する件 ・令和4年度(第48回)臨床検査精度管理調査について ③令和4年度精度管理地区委員会事業について ④今後の開催日程について ⑤その他 | |

(7) 生涯学習推進専門委員会

① 目的

本協会会員の全従業員を対象とした生涯学習通信講座の適正な実施を推進し、従業員の資質向上を図ることを目的とする。

② 構成

[生涯学習推進専門委員会]

| 役 職 | 氏 名 | 所 属 |
|-------|-----------|------------------|
| 担当副会長 | 近 藤 健 介 | (株)ビー・エム・エル |
| 委員長 | 橋 本 充 | (株)江東微生物研究所 |
| 副委員長 | 関 谷 幸 浩 | (株)江東微生物研究所 |
| 〃 | 大 黒 豊 和 | (株)京浜予防医学研究所 |
| 委 員 | 田 中 治 | (株)保健科学研究所 |
| 〃 | 飯 塚 昌 平 | (一財)東京保健会病体生理研究所 |
| 〃 | 五 十 嵐 直 光 | (株)エスアールエル |
| 〃 | 中 田 隆 | (株)江東微生物研究所 |
| 〃 | 百 瀬 仁 浩 | (株)サンリツ |
| 〃 | 半 藤 厚 司 | (株)ビー・エム・エル |
| 〃 | 栗 原 直 樹 | (株)LSIメディエンス |
| 〃 | 岡 田 綾 子 | (株)エスアールエル |
| 〃 | 齊 藤 秀 男 | (株)昭和メディカルサイエンス |
| 〃 | 金 山 秀 二 | (株)ビー・エム・エル |
| 〃 | 山 崎 祐 二 | (株)ファルコバイオシステムズ |
| 〃 | 真 柴 新 一 | (株)保健科学研究所 |
| 〃 | 久 野 義 和 | (株)LSIメディエンス |

R4.3.31 現在 (敬称略)

[生涯学習通信講座テキスト及び問題集作成WG]

| 役 職 | 氏 名 | 所 属 |
|-----|-----------|-----------------|
| 委 員 | 村 瀬 淳 子 | (株)LSIメディエンス |
| 〃 | 中 條 聖 子 | (株)エスアールエル |
| 〃 | 市 村 剛 | (株)エスアールエル |
| 〃 | 甲 斐 田 信 嗣 | (株)エスアールエル |
| 〃 | 福 井 崇 史 | (株)ファルコバイオシステムズ |

R4.3.31 現在 (敬称略)

③ 開催状況

| 回 | 開催年月日 | 審議事項 | 備考 |
|-----|-----------|--|------------|
| 第1回 | 令和3年4月22日 | ①2020年度生涯学習通信講座提出状況報告 ②2021年度生涯学習通信講座テキスト並びに履修結果確認問題集の作成について ・募集要項・カリキュラム（案） ・テキスト改訂について ・履修結果確認問題集・問題の見直しについて ・遺伝子関連検査・染色体検査コース導入に関する件 ③2021年度生涯学習通信講座スケジュールについて ④その他 ⑤次回開催 | 平均出席率78.8% |
| 第2回 | 令和3年11月4日 | ①2020年度生涯学習通信講座総括 ②認定証カード発行に関する件 ③2021年度生涯学習通信講座受講受付状況 ④協会誌『ラボ』11月号への生涯学習紹介記事（カリキュラム等）の掲載 ⑤遺伝子関連検査・染色体検査コース開講のご報告及び今後の課題 ⑥その他 ⑦次回開催日 | |
| 第3回 | 令和4年2月2日 | ①2021年度認定証カード発行（新規・更新）状況報告 ②2021年度生涯学習通信講座提出状況報告 ③2022年度生涯学習通信講座テキスト並びに履修結果確認問題集の作成について（分担及びスケジュール） ④遺伝子関連検査コース・染色体検査コースの教材編集について ⑤その他 ⑥分科会 ⑦次回開催日 | |

(8) 遺伝子関連検査受託倫理審査委員会

① 目的

「遺伝学的検査受託に関する倫理指針」の適正な実施に関する事項の調査・指導

② 構成

[遺伝子関連検査受託倫理審査委員会]

| 役 職 | 氏 名 | 所 属 |
|-----------|-----------|-------------------|
| 担 当 副 会 長 | 河 田 興 一 | (株)ファルコバイオシステムズ |
| 委 員 長 | 中 山 智 祥 | 日本大学 |
| 副 委 員 長 | 堤 正 好 | (一社)日本衛生検査所協会 |
| 委 員 | 菅 野 康 吉 | (公財)佐々木研究所附属杏雲堂病院 |
| 〃 | 渡 邊 淳 | 金沢大学 |
| 〃 | 甲 斐 田 信 嗣 | (株)エスアールエル |
| 〃 | 村 瀬 淳 子 | (株)LSIメディエンス |
| 〃 | 小 原 収 | (公財)かずさDNA研究所 |
| 〃 | 鈴 木 誠 | (株)ビー・エム・エル |
| 〃 | 福 井 崇 史 | (株)ファルコバイオシステムズ |
| 〃 | 真 柴 新 一 | (株)保健科学研究所 |

R4.3.31 現在 (敬称略)

[遺伝子関連検査・染色体検査諸課題検討小委員会委員]

| 役 職 | 氏 名 | 所 属 |
|---------------|---------|-----------------|
| 担 当 副 会 長 | 河 田 興 一 | (株)ファルコバイオシステムズ |
| 担 当 理 事 委 員 長 | 堤 正 好 | (一社)日本衛生検査所協会 |
| 委 員 | | |
| 遺 伝 子 査 担 当 | 古 川 洋 一 | 東京大学医科学研究所 |
| 〃 | 中 條 聖 子 | (株)エスアールエル |
| 〃 | 小 林 紀 子 | (株)LSIメディエンス |
| 〃 | 糸 賀 栄 | (公財)かずさDNA研究所 |
| 〃 | 長 野 誠 | (株)ビー・エム・エル |
| 〃 | 真 柴 新 一 | (株)保健科学研究所 |
| 染 色 体 検 査 担 当 | 黒 澤 健 司 | 神奈川県立こども医療センター |
| 〃 | 市 村 剛 | (株)エスアールエル |
| 〃 | 別 府 弘 規 | (株)エスアールエル |
| 〃 | 中 澤 勸 | (株)LSIメディエンス |
| 〃 | 山 本 昌 司 | (株)ビー・エム・エル |

R4.3.31 現在 (敬称略)

(9) BCP（事業継続計画）検討委員会

① 目的

会員衛生検査所間で検査の受委託等の情報共有を可能とするシステム構築等のための具体的将来像、及びその実現に向けたスケジュール案等の検討

② 構成

[BCP（事業継続計画）検討委員会]

| 役職 | 氏名 | 所属 |
|----|-------|-----------------|
| 委員 | 鈴木 信之 | (株)エスアールエル |
| 〃 | 松尾 義博 | (株)LSIメディエンス |
| 〃 | 村上 和生 | (株)江東微生物研究所 |
| 〃 | 山下 祐二 | (株)ビー・エム・エル |
| 〃 | 馬場 直樹 | (株)保健科学研究所 |
| 〃 | 大西 彰 | (株)四国中検 |
| 〃 | 高司 明彦 | (株)ファルコバイオシステムズ |
| 〃 | 荒木 年夫 | (株)大阪血清微生物研究所 |
| 〃 | 渡部 隆紀 | (株)福山臨床検査センター |
| 〃 | 藤井 謙吾 | (株)シー・アール・シー |

R4.3.31 現在（敬称略）

[BCP（事業継続計画）検討委員会ワーキンググループ]

| 役職 | 氏名 | 所属 |
|----|-------|-----------------|
| 委員 | 鈴木 信之 | (株)エスアールエル |
| 〃 | 松尾 義博 | (株)LSIメディエンス |
| 〃 | 村上 和生 | (株)江東微生物研究所 |
| 〃 | 山下 祐二 | (株)ビー・エム・エル |
| 〃 | 高司 明彦 | (株)ファルコバイオシステムズ |

R4.3.31 現在（敬称略）

③ 開催状況

[BCP（事業継続計画）検討委員会ワーキンググループ]

| 回 | 開催年月日 | 審議事項 | 備考 |
|-----|-----------|--|--------------|
| 第1回 | 令和3年4月12日 | ①有事における業務継続の具体的事例について ②BCP（事業継続）検討委員会の検討事項の確認 ③BCP（事業継続）検討委員会の今後の進め方について ④その他 | 出席率 95.0% |

| | | | |
|-----|-----------|---|--|
| 第2回 | 令和3年7月9日 | ①紐付け表に関する最終調整 ②今後の進め方に関して ③その他 | |
| 第3回 | 令和4年1月13日 | ①「メインラボ稼働不能時の外注項目」 纏め表の確認 ②今後の進め方について ③その他 | |
| 第4回 | 令和4年2月22日 | ①今後の進め方について ②その他 | |

Ⅱ 事業

1 臨床検査の普及

(1) 臨床検査普及月間

臨床検査普及月間事業は令和3年度で44回目を迎え、衛生検査所の精度管理、学術技能の向上、検査体制等の総点検を行い、衛生検査所のレベルアップを図るとともに、臨床検査の正しい認識を社会一般に広め、衛生検査所の信頼を向上させることに努めた。

期 間 11月1日 ～ 11月30日
協賛団体 公益社団法人 日本医師会
一般社団法人 日本病院会
一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会

(2) 本部・支部臨床検査普及月間大会の開催

臨床検査普及月間大会は、令和3年11月25日(木)14時15分より、東京・千代田区隼町のグランドアーク半蔵門に於いて、日衛協本部との共催により次の内容で実施した。

<スローガン> 取り戻そう！ 検査がつなぐ みんなの笑顔

<内 容>

14:15～15:15 **記念講演**

演題 よろこびを力に……

講師 有森 裕子 氏 (バルセロナ五輪・銀メダル、アトランタ五輪・銅メダル、2大会連続メダリスト)

15:30～16:30 **記念式典**

開式の辞

会長挨拶

来賓祝辞

第22回一般公募エッセイ「検査がくれたもの」入選者表彰

永年勤続者表彰 〈対象：関東甲信越支部〉

日衛協認定士・認定証授与 〈対象：関東甲信越支部〉

閉式の辞

令和3年度の各支部月間大会は、新型コロナウイルス感染症のため開催が見送られた支部もあったが、Zoomによるオンライン大会として開催される支部等もあった。令和3年度の各支部月間大会開催状況は次の通り。

令和3年度 日衛協各支部臨床検査普及月間大会概要

| 支部 | 開催日・会場 | 主な内容 |
|------------------|---------------------------------------|--|
| 北海道 | 11月5日(金) Zoomによるオンライン開催 北海道札幌市 | 記念式典 永年勤続表彰及び日衛協認定士・認定証授与 |
| 東北 | 開催見送り | |
| 関東 日衛協 甲信越 | 11月25日(木) グランドアーク半蔵門 東京都千代田区 | 記念式典 永年勤続表彰及び日衛協認定士・認定証授与 記念講演:よろこびを力に…… 有森 裕子 氏 (バルセロナ五輪・銀メダル、アトランタ五輪・銅メダル。2大会連続メダリスト) |
| | 11月29日(月) Zoomによるオンライン開催 | 関東甲信越支部学術研究発表会 |
| 北陸 | 開催見送り | |
| 中部 | 11月11日(木) 葵タワー グランディエール 静岡県静岡市 | 学術研究発表会 (Zoomも併用した会場とオンラインのハイブリッド開催) 記念式典 (Zoomも併用した会場とオンラインのハイブリッド開催) 永年勤続者表彰 |
| 近畿 | 開催見送り | |
| 中国 | 11月12日(金) Zoomによるオンライン開催 広島県福山市 | 学術研究発表会 中国支部精度管理調査報告 記念式典 永年勤続者表彰 |
| 四国 | 11月19日(金) Zoomによるオンライン開催 香川県高松市 | 記念式典 永年勤続表彰 |
| 九州 | 開催見送り | |

(3) 協会誌「ラボ」臨床検査普及月間特別号の発行

臨床検査普及月間の期間中に発行する協会誌「ラボ」11月号は、新型コロナウイルス感染症に関する特集記事「コロナ禍における日衛協の動きと臨床検査技師の活動」として、日衛協の2020年1月から時間軸に沿った活動・対応状況の振り返り、及び検査現場の臨床検査技師の声の紹介を行うなどして内容を充実させ、臨床検査普及月間特別号として発刊した。

(4) 臨床検査普及月間ポスターの製作

臨床検査及び衛生検査所（協会）の役割を一般の方々に正しく周知願うことを目的に、下記の臨床検査普及月間ポスターを製作し、医療機関へ配布、貼付して目的の達成を図った。

取り戻そう!
検査がつなぐ
みんなの笑顔

11月11日は臨床検査の日
臨床検査普及月間

私たちの仕事、臨床検査を知っていただくために、映像をつくりました。ぜひご覧ください。

臨床検査振興協議会の命を受けたスーパードッグ「りんしょう次さん」が40種類のLINEスタンプになりました。どんどん使って、臨床検査の大切さを伝えましょう。

確かな医療を支える臨床検査
一般社団法人 日本衛生検査所協会
Japan Registered Clinical Laboratories Association

<http://www.jrcla.or.jp/> · E-mail: info@jrcla.or.jp
協賛：公益社団法人日本医師会 一般社団法人日本病院会 一般社団法人日本臨床衛生検査技師会

2 検査精度保証

(1) 臨床検査精度管理調査の実施

昭和49年から始まった日本衛生検査所協会主催の精度管理調査は、わが国の代表的な検査室間比較プログラムの1つとして認知されている。令和3年度(第47回)の本調査への参加は256施設であった。検査結果の検査室間比較という調査目的から、参加する検査項目は自施設で日常的に検査をしている項目としている。外部委託している項目は除外する。また、測定結果は日常検体と同じ扱いで1回の測定で得た実測値報告としている。

なお、平成28年度の調査より、プール血清供出施設の負担軽減を図ることを目的として調査試料1~3をコントロール血清に変更している。

臨床化学は、一般化学17項目に酵素8項目と新鮮血液を用いたHbA1cを加えた26項目の調査を実施した。また、今年度の調査でもコントロール血清とヒトプール血清との反応性比較を目的として総蛋白とアルブミンの2項目を参考調査として実施。さらに、日本臨床検査標準協議会(JCCLS)から調査試料の無償提供を受け、臨床化学の全項目とCRPで参考調査を実施した。

血液学は、新鮮血液で血球計算5項目と及びインターネットを利用した血液像のフォトサーベイとバーチャルスライドサーベイにプロトロンビン時間測定を加えた9項目を調査した。しかし、報告値に想定以上のばらつきがあったため、WBC、好中球、リンパ球の各項目を参考調査として評価項目外とした。また、白血球百分率の実数回答を参考調査として実施した。

HbA1cと血球計算、白血球百分率の6項目の調査については、平成26年度(第40回)から全国共通試料に1本化した新鮮血液にて実施している。11月8日に新鮮血液調査試料を発送したが、令和元年に(株)ヤマト運輸が超速便を廃止したことにより、北海道・九州及び山口の一部施設には発送翌々日(11月10日)の到着となった。

免疫血清学は、CRP定量、CEA、PSA、CA19-9、AFP、TSH、FT4、RFの8項目に加え、フェリチンを正式な調査項目とした。

微生物学は、慢性副鼻腔炎患者の塗抹標本に対するグラム染色検査として、グラム陽性菌、グラム陰性菌、及び細胞に対する染色性を評価した。また分離培養として肺炎の原因菌の特定、感受性検査では、尿路感染症患者の尿から分離された細菌から出題した。

そして今年度は、初めて新型コロナウイルス遺伝子検査の精度管理調査を実施し、会員外も含めて57施設が参加した。本調査では、COVID-19の全遺伝子をαウイルスの遺伝子に組み込んだ標準物質が使用された。

統計的分析は昨年と同様に(株)電算に依頼し、集計を行い、今回も調査結果の評価方法は、臨床化学、血液学、免疫血清学については新補正共通CVと各分野の担当委員が決めた指定CVを比較して、評価用CV(コンセンサスCV)を設定し評価した。ただし、独立して評価する測定法群(peer group)の最小参加施設数を5としている。微生物学及び新型コロナウイルス遺伝子検査は、担当委員が総合的に評価した。

そして、基準値(基準範囲、臨床判断値)の出典についての付帯調査も昨年度に続き実施。

なお、報告遅延は、バーチャルスライドサーベイ6施設、微生物学4施設、ホームページ回答1施設であり、計11施設(重複なし)であった。

1) 試料発送日 令和3年11月8日(月)

2) 回答形式 インターネット入力形式

3) 回答締切日 令和3年11月22日(月)17時

4) 実施項目

○臨床化学

【一般化学】

- ①ナトリウム、②カリウム、③クロール、④総カルシウム、⑤無機リン、⑥総蛋白
- ⑦アルブミン、⑧総ビリルビン、⑨尿素窒素、⑩クレアチニン、⑪尿酸
- ⑫ブドウ糖、⑬総コレステロール、⑭中性脂肪、⑮HDLコレステロール
- ⑯LDLコレステロール、⑰血清鉄、⑱HbA1c

【酵素】

- ⑲AST、⑳ALT、㉑アルカリ性ホスファターゼ(ALP)、㉒LD、㉓γ-GT
 - ㉔CK、㉕コリンエステラーゼ、㉖アミラーゼ
- (※下記項目は患者プール血清による参考調査も実施)
- ⑥総蛋白、⑦アルブミン

○血液学

- ㉗白血球数(WBC)、㉘赤血球数(RBC)、㉙ヘモグロビン(Hgb)
 - ㉚ヘマトクリット(Hct)、㉛血小板数(PLT)、㉜白血球百分率
 - ㉝血液像(インターネットフォトサーベイ)
 - ㉞血液像(バーチャルスライドサーベイ)、㉟プロトロンビン時間測定
- (※白血球百分率の好酸球、好塩基球、単球、異形リンパ球、及び実数報告は参考調査)

○免疫血清学

- ㊱CRP、㊲CEA、㊳PSA、㊴CA19-9、㊵AFP、㊶TSH、㊷FT4
 - ㊸フェリチン、㊹RF
- (※フェリチンは参考調査)

○微生物学

- ㊺塗抹染色、㊻細菌同定、㊼抗菌薬感受性

○新型コロナウイルス遺伝子検査

- ㊽新型コロナウイルス遺伝子検査

5) 配布試料

- ①臨床化学 試料1～8…凍結血清、試料9…全血液
- ②血液学 試料8…全血液、写真10～15…日衛協ホームページ
写真16…CD-ROM、試料17～18…凍結乾燥血漿
- ③免疫血清学 試料1～4…凍結血清、試料19～22…凍結乾燥血清
試料23…凍結血清
- ④微生物学 試料24…スライドグラス(2枚)、試料25・26…凍結乾燥品
- ⑤新型コロナウイルス遺伝子検査 試料27～31…液状血清

6) 参加状況

| | 臨床化学・血液学・ 免疫血清学 | 微生物学 | 新型コロナウイルス 遺伝子検査 |
|--------------|--------------------|------|--------------------|
| 項目別 参加施設数 | 235 | 61 | 57 |
| 総参加施設数 | 256 | | |

(2) 令和2年度(第46回)臨床検査精度管理調査結果検討会の実施

本会は、新型コロナウイルス感染症対策のため、ウェブ会議システム Zoom を使用した完全ウェブ方式で開催し、今後の衛生検査所の精度管理の向上に努めた。

I. 開催日

令和3年6月4日(金)

一般社団法人日本衛生検査所協会会議室

〒112-0004 東京都文京区後楽2-3-28 K. I. S 飯田橋2階

II. 内容

1. 調査結果について

- | | | |
|-----------|-----------------|----------|
| (1) 総評 | 昭和大学 | 高木 康 先生 |
| (2) 調査の概要 | 精度管理委員会 事務局 | 小島 卓 委員 |
| (3) 臨床化学 | 昭和大学 | 高木 康 先生 |
| (4) 血液学 | 慶應義塾大学 | 三ツ橋雄之 先生 |
| (5) 免疫血清学 | 自治医科大学 | 山田 俊幸 先生 |
| (6) 微生物学 | 鹿島病院感染症診療支援センター | 菅野 治重 先生 |

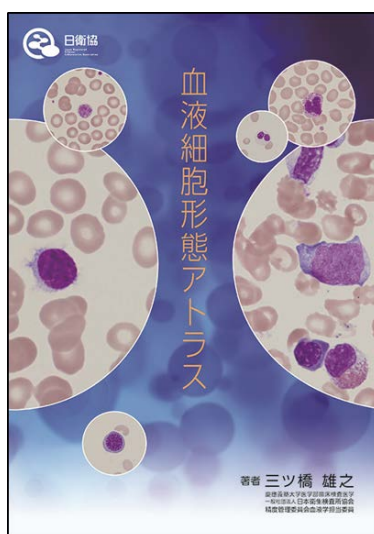
2. 特別講演会

「新型コロナ核酸検査の精度管理とその関連」

宮地 勇人 先生(東海大学医学部基盤診療学系臨床検査学)

(3) 血液細胞形態アトラスの活用

平成29年に会員衛生検査所の判読技術の向上と標準化に資することを目的に、当協会の精度管理委員会血液学担当委員で慶應義塾大学医学部臨床検査医学の三ツ橋雄之先生に執筆頂き発刊した本書を、販売する等して引き続き活用した。



3 教育・研修

(1) 第27回学術研究発表会全国大会

会員衛生検査所の精度の向上と学術技術の発展を目的として、学術研究発表会全国大会を開催した。令和2年度は新型コロナウイルス感染症により開催中止としたため2年振り、また同感染症対策としてZoomによる完全ウェブ方式での開催となった。第27回目を迎えた同大会では、各支部から推薦された19演題が、日頃の研究、研鑽の成果として発表された。

実施時期：令和3年7月15日（木）

開催方法：Zoomによる完全ウェブ方式

一般社団法人日本衛生検査所協会会議室1及びZoomでつないだ遠隔地

演題発表

微生物学・寄生虫学

座長 岩川明子（シー・アール・シー）

1. 微生物同定質量分析装置 MALDI Biotyper の使用経験
大庭僚将・村田亜紀・多田留美・河村常作（アルプ）
2. ペニシリン低感受性 *Streptococcus agalactiae* の検出率と感受性検査の必要性
亀澤将・中本明美・檜垣慎一郎・田浦花・鮫島理沙・西ノ明学
（クリニカルパソロジーラボラトリー）

座長 花川準司（四国中検）

3. 培養同定におけるカンジダ培地の検討
兵道美波・田川恭平（エスアールエル）
4. *Anaerobiospirillum succiniciproducens* を疑う菌種について
永田修一・河相朋美・小松由奈・石原彰人・高橋伸
早崎俊成・奥原俊彦（福山臨床検査センター）

座長 神谷厚（札幌臨床検査センター）

5. 四国・中国地域における市中での薬剤耐性菌（ESBL、カルバペネマーゼ産生菌、CRE）の検出状況
野村泰生・杉本啓一・田中悟・杉本幸子・林久志
（ファルコバイオシステムズ）
6. *Bordetella holmesii* による百日咳様症状を呈した成人症例について
中谷瑞希・表口真穂・松本朋子・橘美希・森川友里加
八木考洋・島田一彦（兵庫県臨床検査研究所）
吉田弘之（兵庫県臨床検査研究所・神戸大学大学院）

7. 本邦における衛生害虫による外部寄生虫症の発生状況 (2000-2017 年)
石川敬 (ビー・エム・エル、国立感染症研究所)
生野博・児玉加奈子・市村禎宏 (ビー・エム・エル)

血液学

座長 荒木年夫 (大阪血清微生物研究所)

8. 全自動赤血球沈降速度測定装置 Smart Rate の検討結果について
古俣竜一郎・涌井直樹 (江東微生物研究所)
9. ALL 発症後無治療経過観察中に自然寛解に至った症例
川渕章弘・中澤夏未・藤井愛華・杉本圭輔・山口悠樹 (エスアールエル)
今村初子・上村由樹 (近森病院)
10. APTT 試薬の比較検討
内海康裕・江副純・真柴新一・久川聡 (保健科学研究所)

免疫血清学・臨床化学

座長 竹並健 (エスアールエル)

11. CKD 関連検査 (特に L-FABP) に関する業務改善
齋川葉月・中嶋宏幸・赤間雅之・前谷光弘 (昭和メディカルサイエンス)
12. HbA1c 測定におけるヘモグロビン F 分画の影響と方法間差について
米井誠・南谷美和・駒井壘・谷本浩行・柴田光恵
川合恵里・佐藤卓・中神由美子 (第一岸本臨床検査センター)

精度保証・管理運営 (業務改善含む)

座長 成田京子 (LSIメディエンス)

13. ヒヤリハット活動による苦情・過誤削減の取り組み
森上真起子・岡部東矢・高尾淳子・長澤英昭 (ファルコバイオシステムズ)
14. 検査センターにおける採血時検体取り違えによる誤報告防止策の検討
黒田麻衣子・竹内秀史・栗本誠一・木戸口公一 (日本医学)

病理学

座長 奥原俊彦（福山臨床検査センター）

15. 乳腺細胞診での鑑別困難、悪性疑い症例の検討
山本楓・藤原和幸・土本詩織・米谷昌志（ファルコバイオシステムズ）
16. 自動染色・封入装置ベンタナHE600の導入効果
安福恵・箭野睦弘・谷聖司（日本医学臨床検査研究所）

教育・その他（遺伝子検査）

座長 杉田宏充（武蔵臨床検査所）

17. 臨床への貢献～Gram染色相談会～
吉川エリ・東田和子・平田京子・神代英士・高野敏充
(エスアールエル)
18. 検査点数一覧表裏面の有効活用
アレルギー項目50音表記とセット一覧・ウイルスワクチン接種のガイドライン
吉田みどり（盛岡臨床検査センター）
19. 検査工程管理システム導入による検査精度向上への取り組み
矢野遥香・佐々木宏・桑原崇記・別府弘規（エスアールエル）

(敬称略)

(2) 日本臨床検査専門学院 (昭和 54 年開講)

令和 3 年度は、生化学コースを 9 月から 12 月までの 3 ヶ月間、延べ 20 日間にわたり開講し、衛生検査所に勤務する臨床・衛生検査技師及び検査部門従事者の卒後教育を実施した。なお、今年度もウェブ会議システム Zoom による完全ウェブ方式で開催。全 20 回の受講申し込みの総計は、本受講生は 36 名、特別受講者 (特定の講義だけを受講) は延べ 150 名であった。また、出席率 60%以上の受講生 36 名に修了証書が授与された。

第 46 期血液学コースカリキュラム

| No. | 講義内容 | 講義日 | 講師 | 所属 |
|-----|------------------------------------|---------------|-------|--|
| 1 | 標準採血法と血液学検査 | 9 月 15 日 (水) | 大西 宏明 | 杏林大学医学部 臨床検査医学 |
| 2 | リンパ系腫瘍 (病態・細胞形態) | 9 月 24 日 (金) | 松下 弘道 | 国立がん研究センター中央病院 病理・臨床検査科 |
| 3 | 造血器腫瘍の immunophenotyping | 9 月 29 日 (水) | 田中 雄三 | 東海大学医学部附属病院 臨床 検査技術科 |
| 4 | 造血器 (骨髄系) 腫瘍 (病態・細胞形態) | 10 月 5 日 (火) | 常名 政弘 | 東京大学医学部附属病院 検査 部 |
| 5 | 造血器腫瘍の WHO 分類 | 10 月 14 日 (木) | 三ツ橋雄之 | 慶應義塾大学医学部 臨床検査 医学 |
| 6 | 血液疾患の遺伝子・染色体検査 | 10 月 18 日 (月) | 横田 浩充 | 慶應義塾大学病院 臨床検査技 術室 |
| 7 | 血小板異常症と臨床検査 | 10 月 21 日 (木) | 金子 誠 | 三井記念病院 臨床検査部・臨 床検査科 |
| 8 | 末梢血液像の見方 | 10 月 25 日 (月) | 荒井 智子 | 慶應義塾大学病院 臨床検査技 術室 |
| 9 | 骨髄像の見方 | 10 月 28 日 (木) | 新保 敬 | 獨協医科大学病院 臨床検査セ ンター |
| 10 | 血液細胞形態検査の標準化: 現状 と課題 | 11 月 2 日 (火) | 坂場 幸治 | 株式会社 ビー・エム・エル 第 四検査部血液学課 |
| 11 | 自動血球計数機の注意点と課 題: フラッグ処理, 標準化など | 11 月 5 日 (金) | 池田 千秋 | 国立がん研究センター中央病院 病理・臨床検査科 |
| 12 | 症例提示による疾患の理解: 貧血 | 11 月 10 日 (水) | 増田亜希子 | 虎の門病院分院 臨床検査部 |
| 13 | 症例提示による疾患の理解: 凝固 異常症 | 11 月 15 日 (月) | 窓岩 清治 | 東京都済生会中央病院 臨床検 査医学科 |
| 14 | 症例提示による疾患の理解: 造血 器腫瘍 | 11 月 22 日 (月) | 小笠原洋治 | 東京慈恵会医科大学 臨床検査 医学 |
| 15 | 血栓止血検査 | 11 月 24 日 (水) | 片桐 尚子 | 慶應義塾大学病院 臨床検査技 術室 |
| 16 | 血栓止血検査の標準化 (サンプ リングを含む): 現状と課題 | 11 月 26 日 (金) | 山崎 哲 | 聖マリアンナ医科大学病院 臨 床検査部 |
| 17 | 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) と血栓止血検査 | 11 月 30 日 (火) | 涌井 昌俊 | 慶應義塾大学医学部 臨床検査 医学 |
| 18 | 血液学検査と AI (血液学検査の 未来を見据えて) | 12 月 2 日 (木) | 田部 陽子 | 順天堂大学医学部 臨床検査医 学大学院医学研究科次世代血液 検査医学 |
| 19 | 血液学検査の資格認定制度 | 12 月 8 日 (水) | 川田 勉 | 東海大学八王子病院 臨床検査 技術科 |
| 20 | 血液検査室の管理 (精度管理・安 全管理) | 12 月 14 日 (火) | 佐藤 尚武 | 順天堂大学医学部 臨床検査医 学 |

(敬称略)

(3) 生涯学習通信講座と資格認定について

令和3年度は第25期検査標準講座(生化学、免疫学、血液学の3コース)、第24期営業標準講座を開講し、第20回資格認定を実施した。

各講座の支部別受講者数及び認定士数は以下の通り。

令和3年(2021)年度・生涯学習通信講座 受講者数(支部別)

R4.3.31

| 支部 | 受講年度 | 1996-2020 | 2021 | 小計 | 総計 |
|-----------|------|-----------|------|-------|-------|
| | | | | | |
| 北海道 | 検査 | 119 | 1 | 120 | 209 |
| | 営業 | 89 | 0 | 89 | |
| 東北 | 検査 | 34 | 4 | 38 | 101 |
| | 営業 | 61 | 2 | 63 | |
| 関東 甲信越 | 検査 | 1,552 | 188 | 1,740 | 3,896 |
| | 営業 | 2,106 | 50 | 2,156 | |
| 北陸 | 検査 | 26 | 0 | 26 | 51 |
| | 営業 | 25 | 0 | 25 | |
| 中部 | 検査 | 44 | 7 | 51 | 98 |
| | 営業 | 44 | 3 | 47 | |
| 近畿 | 検査 | 287 | 7 | 294 | 806 |
| | 営業 | 497 | 15 | 512 | |
| 中国 | 検査 | 78 | 1 | 79 | 135 |
| | 営業 | 56 | 0 | 56 | |
| 四国 | 検査 | 25 | 0 | 25 | 35 |
| | 営業 | 10 | 0 | 10 | |
| 九州 | 検査 | 144 | 4 | 148 | 372 |
| | 営業 | 220 | 4 | 224 | |
| 全国 | 検査 | 2,309 | 212 | 2,521 | 5,703 |
| | 営業 | 3,108 | 74 | 3,182 | |

令和2年(2020)年度講座修了・第20回認定(2021年審査実施)

※一部年度以前の修了者を含む

日衛協 認定士数

R4. 3. 31

| 認定年度 支部 | 第1回～第19回 2002～2020年 | 第20回 2021年 | 合計 2002～2021年 |
|------------|------------------------|---------------|------------------|
| 北海道 | 131 | 1 | 132 |
| 東北 | 67 | 4 | 71 |
| 関東甲信越 | 2,869 | 180 | 3,049 |
| 北陸 | 3 | 0 | 3 |
| 中部 | 57 | 7 | 64 |
| 近畿 | 522 | 13 | 535 |
| 中国 | 93 | 1 | 94 |
| 四国 | 18 | 0 | 18 |
| 九州 | 220 | 6 | 226 |
| 全国 | 3,980 | 212 | 4,192 |

日衛協 認定士数(種別)

R4. 3. 31

| 認定年度 種別 | 第1回～第19回 2002年～2020年 | 第20回 2021年 | 合計 2002～2021年 |
|------------|-------------------------|---------------|------------------|
| 検査認定士 | 1,644 | 127 | 1,771 |
| 生化学的検査 | (762) | (42) | (804) |
| 免疫学的検査 | (359) | (37) | (396) |
| 血液学的検査 | (523) | (48) | (571) |
| 営業認定士 | 2,336 | 85 | 2,421 |
| 合計 | 3,980 | 212 | 4,192 |

※検査の括弧内は分野別内訳

(4) 令和4年度診療報酬改定に関する説明会

令和4年度の診療報酬改定に関する説明会を開催。新型コロナウイルス感染症のため、Zoomによる完全ウェブ方式で開催した。講師は、厚生労働省保険局医療課の担当官が務めた。説明会では、令和4年度診療報酬改定の概要が説明されるとともに、事前に会員施設から寄せられた質問にも回答がされた。なお、全国から約100接続の参加があった。

- 開催日時 : 令和4年3月28日(月) 14:00～15:30
- 開催方法 : Zoomを使用した完全ウェブ方式

4 広報活動

臨床検査の正しい認識を医療関係者や社会一般に広める活動の一環として、次の広報活動を行った。

(1) 協会誌「ラボ」を発行

令和3年度も、医療分野での最新動向、臨床検査関連の話題などを主体に毎月1号36,500部を計12号発行した。

令和3年度は、膵がん・腎がんなどの病気と検査を解説する「暮らしとけんさ」、各支部会員の社員の方を紹介する「元気印集合！われらの仲間たち」、エッセイ受賞作品、海の不思議な生き物を紹介する「令和維新」、及び各支部の特色ある地域を紹介する「北から南から」などの記事を掲載した。

また新型コロナウイルス感染症については、当協会の活動の紹介や検査に携わる方のインタビュー記事等を掲載した。

協会誌「ラボ」は、読者を一般の方も対象としているため、専門的になりがちな医療関連の情報や日衛協の方針などを読みやすく、分かりやすい表現となるよう編集している。



(2) 第 22 回一般公募エッセイ「検査がくれたもの」

本年度も「検査がくれたもの」をテーマにエッセイを広く一般から募集した。
22 回目を数える今回は 193 作品の応募があった。

応募エッセイの中から、下記の通り最優秀賞、優秀賞、努力賞の 8 名を選考し、協会紙「ラボ」、及び当協会のホームページで紹介した。

募集期間 令和 3 年 6 月 1 日～8 月 20 日
募集方法 公募ガイド、協会誌「ラボ」、日衛協ホームページに掲載
応募数 193 品
各 賞 最優秀賞 1 名、優秀賞 2 名、努力賞 5 名

第 22 回一般公募エッセイ「検査がくれたもの」選考結果

| 賞 | 筆 者 | タイトル |
|------|-------|--------------------|
| 最優秀賞 | 上原妃佳里 | 新人看護師のわたしは採血が嫌いだった |
| 優秀賞 | 幸地 千華 | 我が子の寝返り |
| 優秀賞 | 山本 築 | 検査がくれた日常 |
| 努力賞 | 梶原 典明 | 検査に無駄な検査なし |
| 努力賞 | 漆原 香里 | 憎いアイツと共存する為に |
| 努力賞 | 斎藤 典代 | 縁は異なるもの |
| 努力賞 | 阿部ひろみ | 桜が咲くまで |
| 努力賞 | 川村 優佳 | 検査がくれた穏やかで幸せな日々 |

(敬称略)

(3) 医療フォーラム 21

令和3年度の医療フォーラム21は、渉外委員会が企画・立案し「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）について Part2～ワクチンと治療薬、そして検査によるアフターコロナ時代へ～」をテーマに開催した。なお今回は、当協会の精度管理調査における新型コロナウイルス遺伝子検査精度管理調査の調査結果が出された後に時期をずらして開催された。また新型コロナウイルス感染症対策として傍聴者は募らずクローズ形式で開催した。

また、その内容を纏めた冊子を作成し、会員、行政、及び関係団体等に配布予定である。

①開催時期 令和4年3月10日（木）14：00～16：00

②場 所 一般社団法人日本衛生検査所協会会議室
〒112-0004 東京都文京区後楽 2-3-28 K. I. S 飯田橋 2階

③出席者

<座 長>

渡辺 清明氏（慶應義塾大学 名誉教授）

<シンポジスト>

江浪 武志氏（厚生労働省健康局結核感染症課 課長）

岡部 信彦氏（川崎市健康安全研究所 所長）

宮地 勇人氏（東海大学医学部基盤診療学系臨床検査学）

菅野 治重氏（鹿島病院感染症診療支援センター）

長沢 光章氏（（一社）日本臨床衛生検査技師会 代表理事副会長）

谷口 充氏（（一社）日本臨床検査薬協会／シスメックス㈱LS事業本部長）

小見 和也氏（株式会社エスアールエル 研究開発本部長）

<進 行>

東 俊一氏（日衛協副会長・渉外委員会担当副会長）

④開催方式 クローズ方式

5 日本衛生検査所協会表彰

令和3年度日本衛生検査所協会表彰は、新型コロナウイルス感染症対策により令和3年度定時総会が規模を大幅に縮小して開催されたため、表彰者に賞状及び記念品が直接送付された。

令和3年度 日本衛生検査所協会表彰者

| 表彰種類 | 氏名 | 施設名 | 所属支部 |
|------|-------|-----------------|-----------|
| 優功賞 | 渡邊 匡 | (株)セントラル医学検査研究所 | 関東 甲信越 |
| 優功賞 | 松永 茂 | (有)多久臨床検査センター | 九州 |
| 功労賞 | 石井 浩次 | (株)盛岡臨床検査センター | 東北 |
| 功労賞 | 小島 卓 | (株)エスアールエル | 関東 甲信越 |
| 功労賞 | 中條 聖子 | (株)エスアールエル | 関東 甲信越 |
| 功労賞 | 古賀 美純 | (株)アルプ | 北陸 |
| 功労賞 | 竹内 秀史 | 日本医学(株) | 近畿 |
| 功労賞 | 近本 陽一 | (株)福山臨床検査センター | 中国 |

(敬称略)

※北海道、中部、四国支部は該当者なし

6 日衛協アンケート調査報告

会員衛生検査所等を対象に下記の各種アンケート調査を実施した。

◎ 理事会

- ・厚生労働省からの依頼による新型コロナウイルス感染症のワクチン職域接種に関するアンケート (令和3年6月実施)
- ・厚生労働省からの依頼による衛生検査所における受託検査料金調査 (令和3年10月実施)
- ・厚生労働省からの依頼による風疹検査実施状況等調査 (令和4年3月実施)

◎ 学術委員会

- ・日本臨床検査専門学院第46期血液学コースアンケート (令和3年12月実施)

◎ 遺伝子関連検査受託倫理審査委員会

- ・令和元年度(第11回)遺伝子・染色体検査アンケート調査 (令和3年9月実施)

7 行政、他団体との連携等

(1) 臨床検査関係団体等との連携

令和3年度に本協会から関係団体に次の役員、委員等を推薦し、臨床検査関係団体との連携を図った。

| 団体名 | 役職等 | 令和3年度 | |
|------------------------|--------------------------|----------------------|-----------------|
| 臨床検査振興協議会 | 特別顧問 | 伊達名誉会長 | |
| | 理事 | 久川会長 | |
| | | 東副会長 | |
| | | 真柴理事 | |
| | | 佐守友博氏 | |
| | 監事 | 近藤専務理事 | |
| | 医療政策委員会 診療報酬改定小委員会 | 金村参与 | |
| | | 萩原三千男氏 | |
| | 診療報酬制度小委員会 | 金村参与 | |
| | 在宅医療における臨床検査小委員会 | 小林事務局長 | |
| | 品質・精度管理小委員会 | 金村参与 | |
| | 将来ビジョン委員会 | 佐守友博氏 | |
| | | 久川理事 | |
| | 遺伝子関連検査に関する小委員会 | 真柴理事 | |
| 堤理事 | | | |
| 大規模災害対策委員会 | 近藤専務理事 | | |
| | 小林事務局長 | | |
| 感染症対策小委員会 | 堤理事 | | |
| | 速永 淳氏(SRL) | | |
| アドホック委員会 | 堤理事 | | |
| 広報委員会委員 | 広田常任理事 | | |
| 日本臨床衛生検査技師会 | 臨床検査技師教育検討委員会委員 | 金村参与 | |
| | 利益相反委員会委員 | | |
| | 倫理委員会委員 | | |
| | IFBLS学会国内委員会委員 | 金村参与 | |
| | 病理FFPE材料を前提とした固定液標準化検討WG | 堤理事 | |
| 日本臨床検査標準協議会 (JCCLS) | 理事 | 金村参与 | |
| | | 小林事務局長 | |
| | 監事 | 近藤専務理事 | |
| | 基準範囲共用化委員会委員 | 奥原学術副委員長 | |
| | ISO/TC212国内検討委員会(団体委員) | 金村参与 | |
| | | WG-1(臨床検査室における品質と能力) | 矢島 保良氏(BML) |
| | | WG-4(微生物検査と分子診断) | 柳沢英二氏(マイクロスカイボ) |
| | WG-5(検査室のバイオリスクマネジメント) | 市村禎宏氏(BML) | |
| | 遺伝子関連検査標準化委員会 | 堤理事 | |
| | ISO/TC272(法科学)国内審議委員会 | 堤理事 | |

| | | |
|------------------------------|-------------------------------------|-----------------------|
| 日本適合性認定協会 (JAB) | 臨床検査室技術委員会委員 | 金村参与 |
| | 標準物質生産者技術委員会委員 | 金村参与 |
| (一財)医療関連サービス振興会 | 理事 | 久川会長 |
| | 評議員 | 近藤専務理事 |
| | 運営委員会委員 | 近藤専務理事 |
| | 倫理綱領委員会委員 | 小林事務局長 |
| | 評価認定制度委員会委員 | 近藤専務理事 |
| | 衛生検査所専門部会委員 | 久川理事 |
| | | 小林事務局長 |
| | 調査指導中央委員会副委員長 | 久川理事 |
| 医療関連サービスマーク調査指導員 | 各支部から28名 | |
| (公社)日本医師会 | 臨床検査精度管理検討委員会委員 | 金村参与 |
| 結核感染診断研究会 | 精度評価委員会委員 | 奥原俊彦氏(福山臨床) |
| 日本医療機能評価機構 | 評議員 | 久川理事 |
| 厚生労働省 | 令和2年度厚生労働科学研究 (検体検査の精度の確保に関する研究) | 久川理事 |
| | 難治領域における検体検査の精度管理体制の整備に資する研究 | 堤理事 |
| | NIPT等の出生前検査に関する専門委員会 | 堤理事 |
| 経済産業省 | 海外渡航者新型コロナウイルス検査センター運営委員会 | 久川聡理事 |
| 東京都 | 衛生検査所精度管理検討委員会委員 | 小島卓氏(SRL) |
| | | 久川理事 |
| | 東京都感染症医療体制協議会 新型コロナウイルス検査体制部会 | 久川理事 |
| 日本検査血液学会 | 凝固検査標準化ワーキンググループ | 奥原俊彦氏(福山臨床) |
| | | 関根康司氏(江東微研) |
| 医療情報システム開発センター (MEDIS-DC) | 臨床検査項目標準マスター運用協議会 | 小林事務局長 |
| | 臨床検査マスター普及に向けた調査・研究 | 村上和生氏(江東微研) |
| | JLACコード付番委員会 | 小林事務局長 村上和生氏(江東微研) |

(2) サービスマーク認定事業への参画

衛生検査所業務サービスマーク認定状況

(令和4年2月1日現在)

1 認定施設数

| | | | | |
|--------|----------|------|-----|--------------|
| 第77回認定 | R2. 6. 1 | (新規) | 1 | (うち日衛協会員 1) |
| | | (更新) | 5 | (うち日衛協会員 4) |
| 第78回認定 | R2.10. 1 | (新規) | 0 | (うち日衛協会員 0) |
| | | (更新) | 20 | (うち日衛協会員 16) |
| 第79回認定 | R3. 2. 1 | (新規) | 0 | (うち日衛協会員 0) |
| | | (更新) | 25 | (うち日衛協会員 20) |
| 第80回認定 | R3. 6. 1 | (新規) | 0 | (うち日衛協会員 0) |
| | | (更新) | 23 | (うち日衛協会員 20) |
| 第81回認定 | R3.10. 1 | (新規) | 0 | (うち日衛協会員 0) |
| | | (更新) | 22 | (うち日衛協会員 20) |
| 第82回認定 | R4. 2. 1 | (新規) | 1 | (うち日衛協会員 0) |
| | | (更新) | 19 | (うち日衛協会員 15) |
| 合 計 | | | 116 | (うち日衛協会員 96) |

2 業務数及び業務別認定施設数

(業務数別)

| | 総数 | 7業務 | 6業務 | 5業務 | 4業務 | 3業務 | 2業務 | 1業務 | 血清分離* |
|-------|-------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 総数 | 116 | 22 | 15 | 14 | 19 | 13 | 11 | 15 | 0 |
| 日衛協会員 | 96 | 17 | 15 | 12 | 17 | 11 | 7 | 11 | 0 |
| 会員率 | 82.8% | 77% | 100% | 86% | 89% | 85% | 64% | 73% | 0% |

* 1業務のうち血清分離のみ

(業務別)

| | 微生物 | 血清 | 血液 | 病理 | 寄生虫 | 生化学 | 免疫 | 尿・糞便 | 遺伝・染色 | 血清分離 | |
|-------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-------|------|----|
| 総数 | 116 | 66 | 61 | 85 | 56 | 46 | 83 | 25 | 22 | 24 | 0 |
| 日衛協会員 | 96 | 57 | 55 | 73 | 43 | 42 | 73 | 20 | 18 | 18 | 0 |
| 会員率 | 82.8% | 86% | 90% | 86% | 77% | 91% | 88% | 80% | 82% | 75% | 0% |

衛生検査所業務医療関連サービスマーク認定数
(都道府県別)

(令和4年2月1日現在)

| 都道府県 | 認定施設数 | | 登録衛生 検査所数 | 備考 | 都道府県 | 認定施設数 | | 登録衛生 検査所数 | 備考 |
|------|-------|-----------|--------------|----|------|-------|-----------|--------------|----|
| | 全数 | 日衛協 会員 | | | | 全数 | 日衛協 会員 | | |
| 北海道 | 3 | 3 | 61 | | 滋賀県 | 2 | 2 | 10 | |
| 青森県 | 0 | 0 | 12 | | 京都府 | 7 | 5 | 29 | |
| 岩手県 | 3 | 3 | 10 | | 大阪府 | 10 | 8 | 55 | |
| 宮城県 | 2 | 2 | 17 | | 兵庫県 | 3 | 1 | 30 | |
| 秋田県 | 0 | 0 | 8 | | 奈良県 | 2 | 2 | 8 | |
| 山形県 | 0 | 0 | 12 | | 和歌山県 | 1 | 1 | 10 | |
| 福島県 | 1 | 1 | 17 | | 鳥取県 | 0 | 0 | 7 | |
| 茨城県 | 2 | 1 | 16 | | 島根県 | 0 | 0 | 6 | |
| 栃木県 | 1 | 1 | 17 | | 岡山県 | 2 | 1 | 10 | |
| 群馬県 | 1 | 1 | 15 | | 広島県 | 1 | 1 | 29 | |
| 埼玉県 | 7 | 5 | 25 | | 山口県 | 2 | 2 | 17 | |
| 千葉県 | 5 | 4 | 31 | | 徳島県 | 0 | 0 | 9 | |
| 東京都 | 17 | 15 | 120 | | 香川県 | 1 | 1 | 13 | |
| 神奈川県 | 7 | 5 | 46 | | 愛媛県 | 1 | 1 | 8 | |
| 新潟県 | 1 | 1 | 24 | | 高知県 | 0 | 0 | 6 | |
| 富山県 | 0 | 0 | 4 | | 福岡県 | 6 | 5 | 49 | |
| 石川県 | 3 | 3 | 14 | | 佐賀県 | 0 | 0 | 4 | |
| 福井県 | 1 | 1 | 5 | | 長崎県 | 1 | 1 | 20 | |
| 山梨県 | 1 | 1 | 11 | | 熊本県 | 0 | 0 | 23 | |
| 長野県 | 3 | 3 | 23 | | 大分県 | 0 | 0 | 10 | |
| 岐阜県 | 4 | 3 | 13 | | 宮崎県 | 0 | 0 | 10 | |
| 静岡県 | 5 | 5 | 35 | | 鹿児島県 | 1 | 1 | 22 | |
| 愛知県 | 5 | 2 | 46 | | 沖縄県 | 1 | 1 | 15 | |
| 三重県 | 3 | 3 | 11 | | 合計 | 116 | 96 | 993 | |

(注) 登録衛生検査所数は令和3年1月1日現在である。

8 新型コロナウイルス感染症関連

今回の新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、日衛協では厚生労働省等からの新型コロナウイルス検査拡充等についての協力要請に基づき、会員検査所協力のもと様々な活動を行っている。下記が令和3年度における経緯及び概要である。

I. 新型コロナウイルス感染症への当協会の対応及び概要

○4月20日 厚生労働省「新型コロナウイルス感染症のPCR検査等における精度管理マニュアル」の公開等の会員への周知

令和2年度11月に日本臨床検査標準協議会が実施した厚生労働省事業「新型コロナウイルス感染症のPCR検査等にかかる精度管理調査」の報告書等について、会員に周知した。

○5月7日 臨床検査振興協議会「東京2020オリンピック・パラリンピックに向けたCOVID-19検査実施体制の考え方」の公表の会員への周知

臨床検査振興協議会 医療政策委員会「感染症対策に関する小委員会」で、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けたCOVID-19の検査実施体制についての考え方をまとめ公表したことを、会員に周知した。

○6月1日 厚生労働省「新型コロナウイルス感染症のワクチン職場接種に関するアンケート」実施依頼

厚生労働省から、政府が検討しているワクチン接種希望者への接種の加速化に関して、自治体によるワクチン接種とは別に、各企業等にて医師・看護師等を確保することを前提とした企業等による職域接種のアンケート調査を行い、意向等を確認したいとの要請があったため、会員に周知しアンケートに協力した。

○6月9日 新型コロナウイルス感染症ワクチンの職場接種申込みの会員への周知

上記アンケートに関連して、必要な人員や会場、連絡体制等の確保を前提とした、新型コロナウイルス感染症ワクチンの職場接種申込みが開催されたことを会員に周知した。

○7月16日 (株)ビー・エム・エルの新型コロナウイルス検査に関する標準作業手順書(SOP)の公開

新型コロナウイルス検査の誤判定防止を目的に、(株)ビー・エム・エルから日衛協に対して、「ウイルス核酸増幅検査作業の基本に関する標準作業手順書(SOP)」及び「セカンダリーチューブへの不活化試薬分注作業に関する標準作業手順書(SOP)」が提供されたため、会員に周知した。

○8月30日 新型コロナウイルス検査に関する検体搬送に関する疑義確認

会員より、ゆうパックによる新型コロナウイルス検査に関する検体搬送について、国立感染症研究所の検体輸送マニュアルにおけるカテゴリBの3重梱包に違反した場合の罰則規定等について疑義があったため、厚生労働省に確認し、違反に関して罰則規定はないが、ゆうパックの利用に係る留意事項において、包装の安全性に関する不適正な事実があった場合には、検体送付のためのゆうパックの利用が終了する可能性もあると記載されている旨等の回答を得たため、同回答を通知した。

○9月2日 日本臨床検査標準協議会が実施する厚生労働省事業「新型コロナウイルス感染症のPCR検査等にかかる精度管理調査」

厚生労働省より、日本臨床検査標準協議会が実施する厚生労働省事業「新型コロナウイルス感染症のPCR検査等にかかる精度管理調査」の実施について報告があった。

○11月9日 日衛協令和3年度（第47回）臨床検査精度管理調査において新型コロナウイルス遺伝子検査の精度管理調査実施

日衛協令和3年度（第47回）臨床検査精度管理調査において、新型コロナウイルス遺伝子検査の精度管理調査を実施。参加施設数は会員外を含めて57施設、関東甲信越支部の施設は20施設であった。なお調査結果は、2月22日の令和3年度臨床検査精度管理調査結果検討委員会での検討を経て、会員施設に送付された。

○11月9日 厚生労働省医政局地域医療計画課医療関連サービス室への新型コロナウイルス感染症PCR検査の無償実施に関する問合せ

政府の方針案で、感染が再拡大した場合に都道府県の判断で、無症状者の自主検査も都道府県が指定した検査場での検査は無料とすることが示されたことに関連し、民間検査機関への依頼や要請等の実施予定について問い合わせ、現状では具体的な方針は何も聞いておらずわかりかねる旨の回答を得た。

○11月10日 内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室からの無症状者への新型コロナウイルス感染症検査無償化に関する事前説明実施要請

内閣官房から、新型コロナウイルス感染症PCR検査の無償実施に関して、日衛協へ事前説明を行いたい旨の要請があり、事務局が対応することとした。

○11月12日 内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室からの無症状者への新型コロナウイルス感染症検査無償化に関する事前説明

内閣官房から、新型コロナウイルス感染症PCR検査の無償実施に関して、日衛協への事前説明が行われた。同室から、本スキームに関心があれば具現化されたいこと、検査は民間検査機関・薬局等において原則対面で実施することなどが説明され、日衛協からは、直接患者から検体検査を受けていないこと、通常の検査所では検査受検者と民間検査機関の間に、医療機関や自治体等が加わらなければ法的に実施できないこと等の意見を述べるとともに、質疑を行った。

○11月24日 日衛協理事会における新型コロナウイルス感染症検査無償化に関する報告

理事会にて、内閣官房より説明のあった新型コロナウイルス感染症に関するワクチン・検査パッケージ等定着促進（仮称）及び感染拡大傾向時の一般検査事業（仮称）に関するPCR検査等無料化の概要（案）について通知連絡があった旨、並びに概要（案）について説明報告。本件については、伊達名誉会長及び事務局が古川俊治参議院議員・日衛協顧問に相談し、その結果を報告することとした。

○11月25日 日衛協顧問古川俊治参議院議員への無症状者への新型コロナウイルス感染症検査無償化に関する相談実施

理事会の決定に基づき新型コロナウイルス感染症検査無償化の検査スキームや同検査が医療行為にあたるのではないかとの懸念について、日衛協顧問である古川俊治参議院議員に説明相談に伺う。同議員に対応いただき、内閣官房と厚生労働省医政局地域医療計画課医療関連サービス室を交えて、あらためて意見交換を行うこととなった。

○12月2日 内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室及び厚生労働省医政局地域医療計画課医療関連サービス室との無症状者への新型コロナウイルス感染症検査無償化に関する意見交換

意見交換の中で内閣官房より、本事業で実施された検査の結果は診断に用いることはできないこと、支援金額、すでに地方自治体に通知されており詳細は各自治体に問い合わせたい旨が説明された。

本件に関して、12月6日に事務局より厚生労働省医政局地域医療計画課医療関連サービス室に対して、本事業の検査は、医師法第17条（医師でなければ、医業をなしてはならない）にはあたらないとの理解でよいかとの旨をあらためて確認。同室より、

- ・単なる検査の結果として通知すること
- ・一般論として陽性の場合医療機関の受診が必要なことを伝えること
- ・一般論として陰性の場合でも感染を否定できないことを伝えること

は医師法に抵触しない旨の回答を得た。

なお本事業については、本事業の概要、及び久川会長から「当協会として各社の対応を統一するような表明を行うことは困難であるため本事業への対応は各社一任とする」旨の会長方針が示されたことを会員に周知した。

○12月8日 新型コロナウイルス感染症の検査に係る保険収載価格の見直し

同日開催の中央社会保険医療協議会総会にて、新型コロナウイルス感染症の核酸検出（PCR）検査、抗原検出検査の保険点数を、令和3年12月31日に引き下げることが了承されたため、会員に周知した。

○12月13日 新型コロナウイルス感染症検査の検査促進枠交付金を活用した検査無料化の実施に関するQ&A（案）の改訂

厚生労働省より、新型コロナウイルス感染症の検査に係る保険収載価格の見直しに伴い、事務連絡「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金における検査促進枠の創設方針について」及びQ&Aの追加修正が行われた旨の連絡があったため、会員に周知した。なお、本事務連絡は現在に至るまで適宜追加修正されている。

○1月14日 検査業務従事者の勤務について

1月12日付で厚生労働省より発出された事務連絡「オミクロン株の感染流行に対応した保健・医療提供体制確保のための更なる対応強化について」の中で示された「医療従事者である濃厚接触者に対する外出自粛要請への対応」に関して、厚生労働省に対して、検査業務従事者の勤務について問い合わせを行い、自治体の判断により認められた場合には、必要な検査を実施し、待機を解除することが可能であることなどの回答を得たため、会員に周知した。

○1月21日 厚生労働省医政局地域医療計画課医療関連サービス室との意見交換

意見交換の中で厚生労働省より、新型コロナウイルス感染症検査に係る保険収載価格の見直しについて質問がされ、これに対して日衛協から、これまでに診療報酬が半減されたような事例は無く、会員検査所も対応に非常に苦慮していることなどを説明し、あらためて診療報酬の引上げを検討頂きたい旨の要請を行った。

○1月28日 事務連絡「新型コロナウイルス感染症に係るPCR検査体制整備について」

内閣官房より、1月27日付で事務連絡「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金における「検査促進枠」の取扱いについて」が発出された旨の連絡があったため、会

員に周知した。

○2月1日 事務連絡「新型コロナウイルス感染症に係るPCR検査体制整備について」

本事務連絡では、新型コロナウイルス感染症PCR検査実施衛生検査所に対して、行政検査を行う医療機関や地方自治体からの検査を優先して受託するよう要請している。また厚生労働省から、検査機器・試薬製造・販売業者、医薬品卸売業者の関連団体等に対して、行政検査を行う医療機関や地方自治体に加えて衛生検査所からの発注にも優先的に対応するよう要請がされている。本件については、メーカーに本事務連絡を知らせて対応を求めよう会員に周知した。

○2月2日 厚生労働省医政局地域医療計画課医療関連サービス室へ「新型コロナウイルス感染症のPCR検査受託状況における要望」提出

会員より、新型コロナウイルス感染症の流行拡大によって検査受託のキャパシティを超えており、試薬等の供給不足が続いているとの連絡があったため、在京検査所の検査受託及び試薬供給の状況を調査し、厚生労働省に調査結果を踏まえて今後の方針を検討されたい旨の要望を行った。

○2月4日 事務連絡「感染症法に基づく就業制限の解除に関する取扱いの周知徹底について」

厚生労働省医政局地域医療計画課医療関連サービス室より、事務連絡「感染症法に基づく就業制限の解除に関する取扱いの周知徹底について」の周知依頼があったため、会員に周知した。

○3月4日 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金における「検査促進枠」の取扱いの変更について

厚生労働省医政局地域医療計画課医療関連サービス室より、事務連絡「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金における「検査促進枠」の取扱いの変更について」の周知依頼があったため、会員に周知した。

○3月18日 新型コロナウイルス感染症の検査に係る診療報酬点数の見直しについて

3月16日に開催された中央社会保険医療協議会総会にて、保険収載価格の見直しが行われ、「核酸検出（PCR）検査（委託）について、感染状況や医療機関での実施状況を踏まえ、激変緩和のための更なる経過措置として、令和4年4月1日から令和4年6月30日まで850点とし、令和4年7月1日に700点とする。」ことが承認されたことを会員に周知した。

II. 新型コロナウイルス感染症検査受託可能な会員施設及び受託可能数

日衛協の会員施設で、新型コロナウイルス感染症検査が受託可能な会社及び受託可能数は、2020年3月6日時点では7社2,100件であったが、2022年3月29日時点では48社である。会員外施設を含めると、3月29日時点で143施設（厚生労働省資料より算出）となっている。なお、3月25日時点の民間検査会社（主に行政検査）の一日当たりの検査能力は190,003件、これまでのPCR検査の実施状況は25,526,386件（厚生労働省資料より）となっている。

本件は令和4年3月31日までの経過概要である。新型コロナウイルス感染症への対応は継続して実施されており、当協会では、厚生労働省及び経済産業省等からの協力要請に基づき、引き続き会員衛生検査所とともに検査体制の拡充等を進めていく。